

回交報告

会社も厳しいが社員とその家族の生活も苦しい！

2009年1月15日、14:00より第3貨物ビル会議室において、3時間15分に及ぶ団交が開かれました。

会社側出席者は佐野人事部長、中島氏、境氏の3名でした。コスト削減政策、中部国際空港閉鎖、に関するものでした。

■世界の経済危機に伴うFEDEXのCost Reduction政策とは？これで雇用と労働条件を守ったといえるのか？

2009年1月14日付でカニングハム氏からAPAC全体にコスト削減ならびに効率アップにつながる施策が出されました。

昇給 (Salary Increase)

- 2009年2月1日付で、すべてのO&Dの基本給を恒久的に5%カットします
- 各国・地域の法律や労働契約上必要な場合を除いて、CY09中の昇給はありません。これはフェデックスの財務および事業目標の達成においてカギとなるコスト削減策です
- CY09中のAIC制度の適用はありません。ただし現場およびセールススタッフに対するボーナスの支給は継続します

昇格 (キャリア・プログレッション)

- フェデックスでは人材の重要性とスタッフの皆さんのビジネスへの貢献を十分認識していますが、現時点から少なくともFY10末までは昇格制度の適用を一時的に中止します
- 現在保留中の昇格申請案件はすべて見送りとなります。これは極めて辛い決断ですが、昇格の中止は継続的なコスト削減策の1つであり、皆さんのご理解とご支援をお願いします

就業規則と各種手当の調整

- 残業には上長の事前承認が必要となります
- フェデックスでは、スタッフの皆さんの健康や士気、ならびに生産性確保のためバケーションと年次休暇を支給しています。景気が上向いてきた時に備え、このようなビジネスがスローな時期にできるだけ多くの休暇を取るようしてください
- 現時点からFY10末までTuition Assistanceプログラムの適用を一時的に中止します。ただし現在受講中、あるいは既に承認を受けたコースについては同プログラムが適用されます
- Bravo Zuluの褒賞として、少なくともFY10末までは金品の授与を中止しますが、フェデックスではそれ以外の方法で引き続きスタッフの皆さんの高い貢献や優れた功績を称えていきます。今後は金品の授与はありませんが、際立った貢献をしてくれたスタッフの皆さんにはBravo Zuluとして、心のこもった手書きのメモを贈呈します。

赤字の部分が我々の生活にもっとも直結するところだと思います。ここ数年、日本の平均昇給率にも届かない超低額昇給だったのに、今年一年、昇給がない、昇格がない、私たちは、モチベーションをどうやってあげていけばいいのでしょうか？

日本の多くの管理職や上級職になんら個人的削減を求めず、私たち、特に若年層に多くの個人的削減を強いる今回の削減には、声を大にして、抗議したいと思います。また、現在は厳しくても、将来に希望が持てるような指針がなぜ出せないのでしょうか

次に、残業には上長(MGR)の事前承認が必要と書いてありますが、現場によって、また日(土曜日、日曜日)によってはMGRがいない時もあるかと思えます。(日曜日などは時間によって、MGRが一人もいない時もある)会社はまだ具体的に詰めていないようなので、今後の運用について会社内部できちっと調整するよう要請しました。

このようなビジネスがスローな時期にできるだけ多くの休暇を取るようしてくださいと書いてありますが、従業員の同意を得たうえで、決してMGR側(会社)から強制しないように要請しました。

組合側からもコスト削減案として

- *マイレージ(交通費)の方程式(公式)の採用⇒どんな状況にも対応できる
- *FAMIS TIME CARDの廃止⇒すべての無駄のかたまり⇒資源の無駄、記入の無駄、入力に無駄、保存の無駄⇒誰にも活用されない

■中部の従業員のスムーズなサポートを！会社の努力を求む！

引っ越しは会社の都合なのか？個人の都合でしょうか？強制的に引っ越しさせて、会社のサポート体制は不十分です。

名古屋撤退という経営判断ミスにも関わらず、経営陣が責任をとらずに名古屋の従業員だけが金銭的なやりくりで苦勞しています。組合側はもっと名古屋の従業員が関空へのスムーズな引っ越しが出来るよう要請しました。

*関空移転に際し、住宅特別手当(敷金、礼金の前払い等)は会社の30万円だけの前払いでは足りない。引っ越し費用補助は後払いだがこれが遅いですし、すでに従業員の負担になっています。

*時期的にも3月27日撤退、4月1日に関空勤務というこの時期、事前に引っ越しした場合、会社はどこまで出してくれるのが問題です。会社側は業務上必要ならば出張扱いで出すと言っています。

■交通手段は最終的に誰が決めるのか？

現在、ガソリン価格は一時期の180円台から下落し、100円台に落ち着きました。

ガソリン価格が跳ね上がった時、自分の車を使わず通勤できないか、悩んだ方もいますが、あるところでは現在、MGRが公共交通機関に強制的に変更しようとしているところもあります。(コスト削減に逆行している)

組合は、公共交通機関が運行していない時に勤務を求められた従業員の交通手段は本人が決めるもので、決して会社が強制するものではないと考え、抗議しました。会社は話し合いで決めていくとしています。さて、あなたはごどう思いますか